

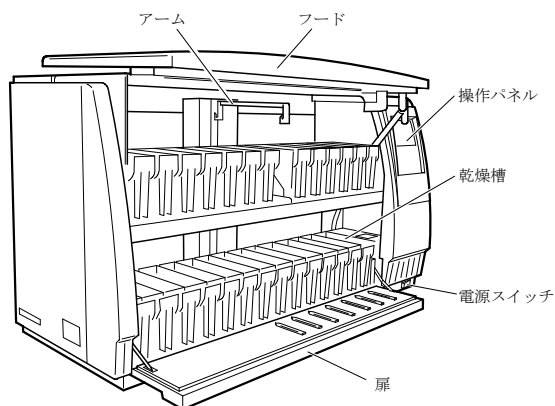
器 1 7 血液検査用器具
一般医療機器 自動染色装置 JMDNコード 70191000

特定保守管理医療機器 ティッシュ・テック DRS2000

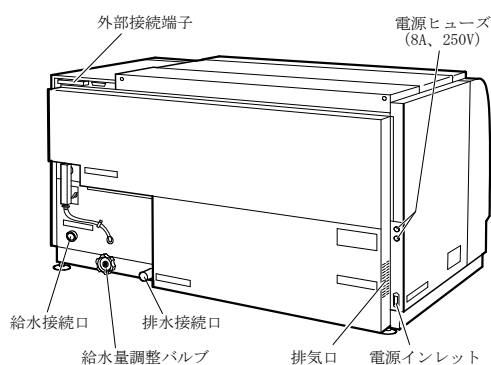
***EMC適合**

【形状・構造及び原理等】

[各部の名称]



本体：正面側



本体：背面側

【作動・動作原理】

染色に必要な薬液を薬液バットに入れ、バット間の移動順、各バットでの処理時間をプログラムに設定しておく。開始槽に置かれたバスケットは、プログラムに従って移動・処理が行われ、すべての処理が終わると終了槽に置かれる。アームがバスケットを開始槽から運び去ると、次のバスケットを開始槽にセットできるため、次々とセットすることで、最大11個のバスケットを並行して処理できる。

検体を張り付けたスライドガラスをバスケットにセットしておくことで、検体が順に薬液で処理されることになり染色が行われる。

【仕様等】

型式：DRS2000-B

本体寸法：1150(W)×490(D)×660(H) mm

本体質量：約98kg

1バッチ処理数：最大40スライド×最大11個装置へ投入可能

乾燥ステーション：温度設定範囲 30～65℃

薬液槽数：27槽(水洗槽, 開始槽, 終了槽を含む)

電気的定格

電 圧：AC100V±10%

周波数：50/60Hz

消費電力：50VA

【設置環境】

- ・温度 10～40℃
- ・湿度 30～85%RH(結露なきこと)
- ・大気圧 70～106kPa

**【使用目的又は効果】

病理学・解剖学や臨床病理学で行われる組織研究及び検査において、顕微鏡用スライドガラス上の組織や細胞塗抹の検体の染色を自動的に行う自動染色装置

【使用方法等】

【必要とする設備】

電源容量：0.5A以上

接地端子：D種以上

給水設備

使用水：上水道(30℃以下、凍結なきこと)

圧力：動圧=0.098～0.441MPa

最大静圧=0.833MPa

配管口径：15A以上

排水設備

方式：間接排水

排水能力：15L/分以上

【使用方法】

以下の手順の詳細は取扱操作説明書の第4章をご参照ください。

- ① 水道栓を全開にする。
- ② 薬液が入った薬液バットと、水洗バットがセットされていることを確認する。
- ③ 電源を入れる。
- ④ 染色プログラムを選択する。
- ⑤ 扉を開き、開始槽にバスケットをセットする。
- ⑥ [開始] キーを押す。

運転(染色)が開始されます。染色が終了すると、画面のメッセージとブザーでお知らせします。

- ⑦ 扉を開き、終了槽からバスケットを取り出す。
- ⑧ 電源を切って、水道栓を閉じる。

【使用上の注意】

詳細は取扱操作説明書の第1章、第2章をご参照ください。

- ・排水ホースをつぶしたり、たるませない。
- ・アームの動作中はアームに手を触れない。
- ・フードは必要なとき以外開かない。
- ・警告・注意ラベルをはがさない。
- ・電源プラグは接地端子付コンセントに接続する、または接地アダプターなどで必ず接地を行なうこと。

取扱操作説明書を必ずご参照ください。

- ・ 給水ホース・排水ホースは使用前に点検する。
- ・ フード開閉の際、隙間に手を挟まないよう注意する。
- ・ 運転中以外は薬液バットにフタをする。
- ・ 装置の使用後は、水道栓を閉じる。
- ・ 給水ストレーナーを清掃する際は、水道栓を閉じてから行なう。
- ・ 薬液は注意して取扱う。
- ・ 装置周辺の通風・換気を良くする。
- ・ お手入れの際は電源を切る。
- ・ 異常動作時は電源を切った後、電源プラグをコンセントから抜く。
- ・ 装置の設置・設置場所の変更作業は販売店に依頼する。
- ・ 装置の定期点検を6ヶ月ごとに行なう。
- ・ 装置上には物を置かない。
- ・ 排気口をふさがない。
- ・ アームの移動範囲に障害物を置かない。
- ・ 腐食性のある薬液を使用した後は、装置を十分に清掃する。
- ・ 薬液バット、バスケットを熱湯で洗浄しない。
- ・ 薬液バットに入れた薬液を電子レンジで加熱しない。
- ・ 消耗品は指定品を使用する。
- ・ 装置の周囲で紫外線殺菌灯を使用しない。
- ・ 染色テストを行い、運転条件を決定する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名 称：サクラ精機株式会社
電話番号：026-272-8381

製造業者

名 称：サクラ精機株式会社 長野本社工場

販売業者

名 称：サクラファインテックジャパン株式会社
住 所：東京都中央区日本橋本町3-1-9
電話番号：03-5643-2630（営業窓口）
機器の故障に関するお問合せ先：0120-392-874
(フリーダイヤル)

【保管方法及び有効期間等】

** [耐用期間]

耐用期間：製造出荷後 8年[自己認証(当社データ)による]
条 件：取扱説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項
あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に
日常点検・保守点検を実施すること。
点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守
点検事項に記載された交換部品を適切に交換するこ
と。保守に用いる主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
駆動部	8年
制御基板	5年
検出センサー	5年
減圧弁	8年
電磁弁	8年

※ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の
使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満た
した場合での平均的な年数となるため、使用環境、使
用方法などにより異なります。

【保守・点検に係る事項】

[使用者による保守点検事項]

詳細は取扱操作説明書の第7章をご参照ください。

- ・ 活性炭フィルター 定期的(2週間ごとを推奨)に新品と交換する。
- ・ 薬液バット台 腐食性のある薬液を使用した場合、または1ヶ月に1回、水を含ませた布で清掃する。
- ・ 給水ストレーナー 1ヶ月に1回以上、歯ブラシを使って水洗いする。

[業者による保守点検事項]

- ・ バッテリーユニット 寿命が来たら新品と交換する。
- ・ ディスプレーユニット 同上